

第7回 検討委員会資料

第3回・第4回展示施設住民説明会の報告について

令和8年3月11日

第32軍司令部壕展示施設基本計画検討委員会

■展示施設住民説明会の開催概要

第32軍司令部壕展示施設基本計画の策定において、地域住民からの意見を計画に反映させるため、以下のとおり住民説明会を開催した。

日 時:第3回 令和8年1月13日(火) 13:00～15:00 (参加人数9名)
第4回 令和8年1月14日(水) 19:00～21:00 (参加人数26名)
※両日とも同様の説明内容

場 所:第3回 県立芸術大学(金城キャンパス)3階小講堂
第4回 県立芸術大学(当蔵キャンパス)一般教育棟3階大講義室

■意見概要

- (1)展示施設の整備場所の見直しを求める意見
- (2)既存の路上駐車や交通渋滞を懸念する意見
- (3)展示施設整備後の路上駐車や交通渋滞を懸念する多くの意見
- (4)展示内容に関する意見
- (5)第2・第3坑道の見学に関する意見
- (6)首里城公園内で第32軍司令部壕の案内を求める意見
- (7)整備の必要性、施設運営等に関する意見
- (8)展示施設の整備費用に関する意見
- (9)モデルルート・周遊に関する意見
- (10)壕内の安全面に関する意見
- (11)検討委員会に専門技術者の加入を求める意見
- (12)ガイドテキストの内容に関する意見

住民意見	県の回答
(1) 展示施設の整備場所の見直しを求める意見	
<ul style="list-style-type: none"> • 壕に並行して公開坑道を整備し、そこから壕を覗く方法が最適。 • 公開坑道を作って、その壁に沖縄戦の経過や中身を見せるべき。 • 公開坑道の整備で首里城から歩いて見学でき、駐車場整備も不要。 • 公開坑道の整備が技術的に不可能という明確な根拠が示されない限り、住民の理解は得られない。 • 日本軍による爆破の痕跡として、壕が埋没している部分も状態を公開すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1坑道は崩落等による立入り不可区間の範囲が多く現時点では公開坑道の整備は困難。 ➤ 壕周辺は国指定文化財の範囲が広く、文化財保護法により土地の改変行為が制限される課題もある。 ➤ 住民説明会等を通じて、丁寧に説明し、理解を得ながら進めていきたい。 ➤ 意見は内部で共有し、今後どのような対応が可能か検討する。

住民意見	県の回答
(2) 既存の路上駐車や交通渋滞を懸念する意見	
<p>■ 周辺道路</p> <ul style="list-style-type: none"> • 周辺は住宅が多いため、予約していないバス対策について、踏み込んだ対応が必要。 • 「県・観光事業者・地域による意見交換会」の開催時期、参加団体、スケジュールを具体的に示すべき。 • 御茶屋御殿や当蔵御殿の復元に伴い、駐車場整備や回避ルートの確保が必要。 • 県立芸術大学運動場の一部移転等も含めて駐車場設置の検討を進めるべき。 • 各施策のタイムスケジュールの明示が必要。 • 道路監視員の強化や電柱撤去も渋滞緩和に有効であるため、早期対応を求める。 • すぐに出来る対策として、レンタカーが狭い生活道路を通過しないように、カーナビやGoogleマップ上でルートとして案内されないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 渋滞対策については、引き続き首里杜まちづくり推進協議会で検討。 ➤ 那覇市との意見交換も含めて検討。 ➤ 現在、各関係者と協議を進めており、それらを踏まえた上で、地域、県、観光事業者等で意見交換会を実施予定。(土木建築部回答) ➤ 芸大の施設であり、詳細を把握していないため、芸大に確認。 ➤ すぐに対応できる事項と、検討に時間を要する事項を整理し、分かりやすく見える化した上で説明し、理解を得ながら対策を進めていく。 ➤ 狭い道が優先的に案内されないよう、カーナビ運営会社へ要請する等の対策を含めて検討。
<p>■ 赤マルソウ通り、崎山馬場通り</p> <ul style="list-style-type: none"> • 県(首里城復興課)とのワークショップでモデルルートの検討を行った際は、参加者全員が、城南小学校校区に車両が進入することに否定的な意見。 • まちづくり協議会では、常にレンタカー問題が話題。 • 崎山馬場通りの渋滞について、繰り返し指摘しているが、その意見が資料上では反映されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スクールゾーンを含む周辺の路地についても対策が必要であると認識。 ➤ 住民意見が十分に受け止められていないとの懸念については、那覇市とも改めて共有し、地域住民の生活に影響が出ないように配慮しながら検討を進める。

住民意見	県の回答
<h2>(3) 展示施設整備後の路上駐車や交通渋滞を懸念する多くの意見</h2>	
<p>■交通渋滞</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学時間帯だけでなく、下校時や週末の子どもの活動時間等、地域の実情を踏まえた交通安全への配慮が必要。現状では車が1台停まるだけで渋滞が発生するほど道路状態が厳しい。 スクールゾーン時間帯の通行許可証の運用については、警察との連絡に頼るだけでは、現実的ではない。まず首里城の交通課題を解決してほしい。 車両流入を前提とした施設整備には強く反対。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの停車で追い越しが危険となり、渋滞の要因。路上停車を発生させない対策は必須。 展示施設基本計画は検討段階であり、展示施設の整備可否や展示施設の規模、駐車場の有無についても、住民意見を踏まえて検討予定。 モノレールや路線バスの利用促進も含め、道路上での駐停車を発生させない対策が重要。 バス協会や観光事業者と対策について意見交換を行っており、今後は地域との意見交換会も進めながら、対策を検討していく。(土木建築部回答)
<p>■周辺道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活圏内に施設を整備することについて、通勤ルートとして日常的に道路を利用しており、帰宅時間帯を含めた交通渋滞が最も懸念される。 施設整備によって地域の生活圏や環境が変化することを踏まえ、住民生活への影響について県の考えを知りたい。 「地域と共に歩む」という表現について、住民の意見がどこまで実際に反映されるのか不透明。 	<ul style="list-style-type: none"> 提言および基本方針では、壕構築の場所で展示を行い、沖縄戦の実相を伝えることが重要とされる。 生活環境への影響は、意見を踏まえながら展示施設と壕を一体的に活用する方法を検討したい。 整備による生活環境への影響は重く受け止めており、施設規模、駐車場の有無、一般車両の取り扱い、バス利用の可否なども含めて検討する。 令和7年12月の住民説明会のご意見を踏まえながら、今回新たに資料を作成している。

住民意見	県の回答
<h2>(3) 展示施設整備後の路上駐車や交通渋滞を懸念する多くの意見</h2>	
<p>■公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> • 公共交通機関への誘導はバス利用だと思うが、現状ではバスの本数が1時間に1～2本程度と少ない。 • 今後、本数の増便について、バス会社と協議を行う予定はあるのか。 • 首里城公園周辺の駐車場発着のバス路線を導入すればよいのでは。 • 公共交通やモノレール利用との説明があったが、施設完成時期までの時間を考えると、交通手段の選択肢は他にもあり得る。 • 「モノレールで来て徒歩で移動する」という発想は現代的ではない。生活圏と共存できる新しい発想を要望。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当初提案していた大型バスの予約制等についても、住民意見を踏まえながら検討。 ➤ 現段階で、バス会社と路線拡充をテーマにした具体的な協議は行っていない。 ➤ 公共交通機関として、モノレールとバスを想定しており、利用促進のため、利便性向上が重要。 ➤ バスの本数が利用促進の課題であるかどうかも含め、今後確認して検討。 ➤ 既存のバスやモノレールをどのように組み合わせ、徒歩での移動が難しい部分を補完するかについても、今後の重要な検討課題。 ➤ 意見交換を継続し、公共交通の利用促進、モノレールやバスを活用したアクセスのあり方、展示施設や首里杜館を巡る仕組みづくりについて検討。

住民意見	県の回答
(3) 展示施設整備後の路上駐車や交通渋滞を懸念する多くの意見	
<p>■ 駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> • 展示施設を設置し、平和教育につなげていくことは、必要性を感じている。 • 一方で、この場所に駐車場を整備する必要があるのか疑問がある。 • 個人用の駐車場は不要では。修学旅行生メインであれば、バスだけの駐車場とし、ロータリー形式で規模を縮小する考え方もある。 • モノレールやバスを利用し、首里城公園周辺の駐車場からバスを導入すれば、よいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和2～4年度に地域住民代表も含めた検討委員会を設置し、保存・公開の在り方を検討。 ➤ 令和5年3月の提言で、展示施設や駐車場を含む施設整備を示され、これを踏まえ県として保存・公開基本方針や保存・公開基本計画を策定している。 ➤ 修学旅行生など児童生徒の来館を想定する中で、大型バスの利用が見込まれることから、バス駐車が可能な候補地として芸大金城キャンパスが検討されてきた経緯がある。 ➤ 大型バス専用駐車場も、一つの選択肢と認識。 ➤ 現時点で全てが決定しているわけではなく、意見を踏まえ、引き続き検討を進めていく。

第3回・第4回住民説明会の意見概要

住民意見	県の回答
(4) 展示内容に関する意見	
<ul style="list-style-type: none">• 壕が首里城地下にあった理由や、その結果生じた影響を、より丁寧に伝えるべき。• 表の歴史だけでなく、負の歴史も含めて、本土や世界の人々に伝える必要がある。	<ul style="list-style-type: none">➤ 史実に基づいて、適切に伝えていきたい。
(5) 第2・第3坑道の見学に関する意見	
<ul style="list-style-type: none">• 第2・第3坑道は沖縄戦の作戦と命令が出された場所であり、その結果として20万人以上の命が失われ、沖縄の運命が決定づけられた。写真、映像だけでなく、形のある現物を残し、見せることが重要である。	<ul style="list-style-type: none">➤ 令和7年3月策定の第32軍司令部壕保存・公開基本計画では、安全確保と劣化防止を基本的な考え方としており、第2・第3坑道については見学者を立ち入らせないことが適切と考えています。➤ 沖縄戦の実相を伝えるため、沖縄戦の中核機能が集まっていた第2・第3坑道の活用に努める必要がありますが、近接する地上および地下部分には首里杜館などの既存施設や首里城公園の防災インフラがあるため、関連施設の整備は困難と考えています。➤ このため、場所の重要性と整備上の課題を関係機関と共有しながら、坑道内部に立ち入らずに内部の状況を見学する適切な方法を引き続き検討します。
(6) 首里城公園内で第32軍司令部壕の案内を求める意見	
<ul style="list-style-type: none">• 首里杜館のスクリーン等を活用した展示が必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none">➤ 首里杜館との連携は、県土木建築部と意見交換中。

住民意見	県の回答
(7)整備の必要性、施設運営等に関する意見	
<p>■整備の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 既に平和祈念公園などがある中で、新たに展示施設を整備する必要はあるのか。 交通渋滞や安全面の懸念もあり、令和8年度に予定されている首里城公園内でのデジタルジオラマ整備だけで十分ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 既存施設との差別化や展示のあり方については、検討委員会において引き続き議論。 ➤ 年間来館者数、1日平均・ピーク人数について検討。 ➤ 壕の構築経緯や地域住民の動員、司令部の南部撤退による犠牲拡大など、住民の視点を重視しながら沖縄戦の経緯や犠牲の背景を学び、二度と同じ悲劇を繰り返さないために、一人ひとりが考える場となる施設を目指して、今後も検討を進めていきたい。
<p>■施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 壕の来訪ニーズを考えると、展示施設駐車場が首里城観光の補助的な利用とされてしまう懸念がある。 駐車場の具体的な運用方法を確認したい。 本展示施設と首里杜館の駐車場を明確に区別するのは、現実的に困難なのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 駐車場は、他施設目的での利用を防ぐ必要がある。 ➤ 警備員配置などにより、適切な利用を検討したい。 ➤ 具体的な運用については今後検討。 ➤ 首里杜館と同様に、展示施設でも、駐車場の満空情報を提供し、周辺駐車場へ誘導することが重要。
<p>■開館時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校時間帯への配慮について、下校時間帯への影響についても併せて検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 下校時間は一律に時間が決めきれないが、住民の意見を踏まえて検討。
<p>■施設規模</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、展示施設の全体像が具体的に示されれば、より多くの意見がでると考える。 見学はジオラマ展示のみで十分ではないか。 交通・歩行導線・安全対策を考えると多数の来訪者を現地に入れる必要性に疑問を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 壕の全体像や沖縄戦の経過を伝えるためには、展示施設と壕を一体的に活用することが必要という考え方が、これまでの検討の中で示されてきた。 ➤ 今後、住民の意見を踏まえて検討。

住民意見	県の回答
<h2>(8) 展示施設の整備費用に関する意見</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> • 壕内の見学人数に限られる中で、実際に見られない展示施設にどれほどの価値があるのか疑問。 • 施設整備については、費用対効果や規模を含めて慎重に検討すべき。 • 滞在時間が限られる観光客に選ばれる施設となるのかという視点も踏まえて検討が必要。 • 壕は戦争遺跡であり、本来は国が負担責任を負うべきものであり、沖縄県が主体となって取り組んでいるが、国からの補助や支援はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 施設規模は住民意見を踏まえながら引き続き検討。 ➤ 現時点では、施設整備に関する取り組みは、県の一般財源を主に活用。 ➤ 今後は、様々な財源確保に努めていく考え。
<h2>(9) モデルルート・周遊に関する意見</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> • 令和6年度の県(首里城復興課)とのワークショップでは、モデルルートの検討を行い、参加者全員が、城南校区への車両進入に否定的。 • モデルルートは、車ではなく、徒歩での散策を基本とするべき。 • 石畳や史跡などを巡る散策コースを複数設定してほしい。 • 首里城と壕の両方を見学してもらえることは意義があるが、そのためには、周辺歩道の整備が重要。 • 現状、キャンパス周辺には十分な歩道がなく、安全対策がされているのか懸念。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ モデルルートは、史跡・戦跡の徒歩散策を想定。 ➤ 令和6年度のワークショップは、通って欲しいルート、欲しくないルートについて、地域ごとに意見を整理。 ➤ 今後も引き続き、地域住民と意見交換し検討。 (土木建築部回答) ➤ 歩道は、金城キャンパス前の一部を除き、十分な幅が確保されていない。 ➤ 首里城公園から金城キャンパスへの誘導は、安全面に十分配慮する必要があり、ガイドの同行等、安全確保を前提とした運営を想定。

第3回・第4回住民説明会の意見概要

住民意見	県の回答
(10) 壕内の安全面に関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> • 壕の安全対策や地盤調査を先行実施した上で、駐車場や展示施設の整備を検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第5坑道の安全対策についてはスケジュールを改めて見直している最中。
(11) 検討委員会に専門技術者の加入を求める意見	
<ul style="list-style-type: none"> • 発掘調査では、通信線など専門知識がないと判別が難しい出土品が確認された。次回の検討委員会に、通信技術者を加えて欲しい。 • トロッコでは、犬釘の有無など専門的判断が必要なため、トロッコ分野の専門家も委員に加えるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和6年度のパブリックコメントにおいても同様の意見が提出されていることを認識している。 ➤ 今後も意見交換を行いたいと考えている。
(12) ガイドテキストの内容に関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> • ガイドテキストに掲載されている首里城の龍柱の向きについて、正面向きだと思われる。 • ガイドテキストの首里城に関する写真は、首里城ではなく沖縄神社拝殿と思われる。 • 1877年にルヴェルトガが撮影した首里城の写真が存在することから、差し替えることを提案。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 沖縄戦で首里城が爆撃を受け消失したという事実と、その前の姿を示す資料として掲載している。 ➤ ガイドテキストの更新作業を行っており、今後検討。